

< 記入例 >  
こちらの様式は記入方法を示したものです。

施設等利用費請求書（償還払い用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【令和 〇年〇〇月～令和〇年〇〇月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の請求にもあたり、次の事項に同意します。

1. 申請 **認定保護者は、認定通知書に記載しています。** すること。
2. 実際に利用していることを大阪市が対象施設に確認すること。
3. 利用料の支払い状況を大阪市が対象施設に確認すること。 **赤丸で囲んでいる箇所は該当**
4. 課税状況を大阪市が確認すること。 **区分に  を入れてください。**

第2号は3・4・5歳児です。第3号は満3歳児です。

1. 施設等利用給付認定保護者（請求者）

フリガナ	ヨウチエン タロウ	認定 子ども との 続柄	父	現住所	〒111-1111 大阪市北区中之島1-3-20 電話：06-2222-2222
氏名	幼稚園 太郎 <b>印</b>				

例)令和元年10月～12月の請求書の場合は、令和元年10月1日～令和元年12月31日と記入してください。

2. 認定子ども(認定子どもごとに請求して下さい)

法第30条の4の認定種別	<input checked="" type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定番号	12345678 (認定通知書記載の8桁)
生年月日	平成 31 年 1 月 1 日	フリガナ	ヨウチエン ジロウ
令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日の間の住所	氏名 幼稚園 次郎		
<input checked="" type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 市外転入 <input type="checkbox"/> 市外転出			
上記で市外転入または市外転出に該当した場合は転入・転出日を記入	令和 3 年 10 月 10 日		

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入

フリガナ	ナカノヨウチエン	所在地	〒546-0013 大阪市東住吉区湯里1-13-6 電話：06-6702-6864
施設名称	中野幼稚園	(市外の場合のみ記入)	
令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日の間の在籍状況	<input checked="" type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した		
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入	令和 1 年 10 月 10 日		

4. 償還払いの振込先を記入して下さい(※1)

- 前回申出の口座と同じ
- 別紙「口座振替申出書」の口座(※1)

いずれかを選んでください。新規または前回申出の口座から変更する場合は「口座振替申出書」も提出してください。

※1 請求者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

<裏面も記入して下さい>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※2)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

①	フリガナ 施設・事業名	ニカガイニコニコホイクエン 認可外ニコニコ保育園	所在地	〒 000-0000 大阪市北区中之島1-2-3 電話：06-5555-5555
②	フリガナ 施設・事業名	ファミリー 太郎 ファミリー 太郎	所在地	〒 000-0000 大阪市西区〇〇1-2-3 電話：06-5555-5555
③	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒 電話：
④	フリガナ 施設・事業名	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>5. については在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合のみご記入ください。</b></p> </div>		
⑤	フリガナ 施設・事業名			
⑥	フリガナ 施設・事業名		所在地	〒

※2 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は、在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の預かり保育を利用しても無償化の対象になりません。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4	請求額 ※5 (「c+d」が月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※4	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
令和1年 10月	19,800 円	23 日	10,350 円	10,350 円	4,000 円	11,300 円
令和1年 11月	20,000 円	19 日	8,550 円	8,550 円	3,000 円	11,300 円
令和1年 12月	12,000 円	17 日	7,650 円	7,650 円	2,000 円	9,650 円

※3 「認可外保育施設等に支払った金額」は、預かり保育事業について、教育時間を含む1日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数20日未満の場合のみ記入が可能

※4 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する書類(利用施設からの領収証等)を添付して下さい。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。

※新2号認定こどもの月額上限は「11,300円」※  
※新3号認定のこどもの月額上限は「16,300円」となります※